

Port of Hachinohe

No. 17
Oct 2005

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- タコマ港との経済貿易協定を延長
- 弘前セミナー開催
- 中国天津市塘沽区人民政府来八
- 県産ながいもをアメリカでPR
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 青森県輸入住宅促進協議会ニュースレター

タコマ港との経済貿易協定を延長

8月22日から27日の日程で、「八戸港・北米交流ミッション（団長：蝦名武青森県副知事）」一行が、アメリカ、カナダを訪れました。

今回のミッションの主な目的は、八戸港とワシントン州タコマ港の「経済貿易協定」を延長することでした。この協定は、1995年に、両港間の利益、両地域の経済全般の発展、社会・経済・文化など様々な分野での友好を目的に締結され、5年毎に見直しを行ってきたものです。

調印式は、24日、シェラトンタコマホテルにて行われました。八戸市議会議長、八戸商工会議所会頭、八戸港振興協会会長、タコマ市長、八戸市の姉妹都市であるフェデラルウェイ市長、フェデラルウェイ市商業会議所会頭の立合いのもと、八戸港側は、蝦名武青森県副知事、大河原隆八戸市助役、タコマ港側は、アール・テッド・ボティガータコマ港港湾委員長、コンスタンス・バーコン同副港湾委員長が調印し、引き続き経済交流に向けて努力することを確認しました。

調印後のレセプションは、両港関係者ら50名が参加し、協定締結当初の思い出や、今後の交流についての意見が飛び交うなど、大変有意義なものとなりました。

ミッション一行は、他に、北米航路で結ばれているシアトル市、バンクーバー市での港湾視察、経済状況調査等を行い、北米との更なる経済交流の可能性を探りました。



調印者（左からタコマ港副港湾委員長、タコマ港港湾委員長、青森県副知事、八戸市助役）

HACHINOHE SIGNING CEREM



調印の様子



調印者及び立会人

中国天津市塘沽区人民政府来八

7月30日から8月2日まで、中国天津市塘沽区の張家星区長をはじめとする人民政府の皆様7名が来八されました。

滞在中には、八戸港をはじめ当市の産業や環境・エネルギー・リサイクルへの取組み等を視察し、特に廃棄物のリサイクルや水産加工技術が高く評価されました。また、国の重要無形民俗文化財に指定されている「八戸三社大祭」をご覧になりました。

2日には友好会議が開かれ、今後の交流について意見交換を行い、経済交流についての協力を継続することを確認しました。

著しい経済成長を続ける中国は、ビジネスの相手国として大きな可能性を秘めています。

また、塘沽区内にある天津新港は、首都北京の海の玄関口であり、八戸港にとって中国最大のコンテナ貿易相手港となっています。

八戸市では、平成15年に塘沽区からの経済交流の申し入れを受け、同年10月に助役を団長とする調査団が同区を訪問し、また、昨年10月には、市長を団長とする「八戸港中国・韓国コンテナ定期航路交流ミッション」が同区を視察しました。

今回、相互訪問が実現したことにより、両地域の経済交流が更に深まり、八戸港の利用拡大につながるが大いに期待されます。



歓迎夕食会にて



市内リサイクル関連企業視察の様子



友好会議にて 前列左：張区長 前列右：中村市長



「八戸三社大祭」山車の前にて

八戸産業ツアーを実施

八戸市では、8月3日から5日の日程で、八戸港の利用促進と企業誘致並びに産業振興を目的に、「八戸産業ツアー」を実施しました。八戸に関心のある県外の企業の皆様6名が、八戸港、リサイクル関連企業、北インター工業団地等を視察し、意見交換を行いました。

また、今回は、ツアーの一環として、南郷区特産のそばをテーマに、「そば振興に関する講演・意見交換会」が行われ、社団法人日本麺類業団体連合会会長の鶴飼良平氏と、白鳥製粉㈱代表取締役の白鳥理一郎氏からそれぞれご講演をいただきました。

これからも、皆様に八戸市をご紹介する企画を考えて参りますので、機会がありましたら、ぜひお越しください。



市内企業での情報交換の様子



社団法人日本麺類業団体連合会会長 鶴飼良平氏

「八戸港セミナーin弘前」開催



あいさつする協議会会長
(八戸市長)



シャディ(株)海外事業部執行役部長
広田恒夫氏

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、7月20日、シティ弘前ホテルにおいて「八戸港セミナーin弘前」を開催し、荷主・物流関係者など貿易関連企業の皆様約60名が参加しました。

セミナーでは、まず青森県の担当者が、コンテナ航路の就航状況や補助金制度、八戸港利用のメリットなどについて説明しました。次に、リンゴの輸出先としてもなじみの深い台湾について、現地の百貨店で日本物産展等の企画を担当されていた、現シャディ(株)海外事業部執行役部長の広田恒夫氏から「台湾の日本食品市場～現地百貨店の観点から～」と題してご講演をいただきました。

台湾では、日本の食品について健康・安全・安心などの良いイメージが浸透しており好意的なこと、効果があるなどお客様が納得できるものであれば、値段に関わらず飛ぶように売れることなど、実体験に基づいたお話をいただきました。

台湾との取引に興味を持っている方々や、既に取り交わしている業者の皆様にとって、大いに参考にしていただけたものと思います。

このセミナーを契機として、皆様に一層八戸港を利用していただきたいと思っております。



講師の話に熱心に聞き入る参加者



情報交換会の様子

青森県薬剤師会衛生検査センター 八戸支所開設

～県南地区の皆様へより迅速な対応をお約束します～

社団法人青森県薬剤師会衛生検査センターは、平成12年12月に青森県で初めての食品検査機関として厚生省(当時)より認可を受け現在に至っております。その間には食の安全を脅かす事例が多数発生し、「食の安全・安心」は今や必須のものとなってきております。

八戸地区におきましては、水産加工業をはじめとする各種食品製造業も多く、また八戸港における食品の輸出入も活発に行われてきており、それにともない食の安全性を担

保するための食品検査への迅速な対応も求められております。

そこで、当センターでは、八戸地区の皆様のご要望に応えるべく、八戸支所を開設いたしました。

これを機に、業務の充実を図り、依頼者の皆様へのサービスのさらなる向上と迅速な対応を行って参りますので、ご利用いただければ幸いです。



八戸商工会館

お問い合わせ先

青森県薬剤師会衛生検査センター八戸支所
〒031-8511 八戸市大字堀端町2-3 (八戸商工会館5階)
Tel : 0178-71-2505 Fax : 0178-43-5119

本部

〒030-0961 青森市浪打1-16-17
Tel : 017-742-8825 (代) Fax : 017-765-4412
e-mail : kensa@aoyaku.or.jp
<http://www.aoyaku.or.jp>

山海こどもサミット～おんでやぁんせ八戸港～

7月26日、八戸みなとまちづくり市民フォーラム（柁沢孝子代表）主催による「山海こどもサミット」が八戸港で開催されました。同フォーラムが、財団法人港湾空間高度化環境研究センターの「WAVE港・海辺活動振興助成事業」としての承認を受けて実施したものです。

今回のこどもサミットは、港を中心に発展した八戸市と、畜産が盛んな七戸町の子供を対象に、穀物や飼料の流通など、地元産業に理解を深めてもらうことが目的です。

八戸市と七戸町の小学生45人が参加し、八戸港で穀物のコンテナを運ぶガントリークレーンを見学した後、遊覧船

に乗って海から八戸港全体を見学しました。午後には八戸港貿易センターのホールで、七戸町立鷹山宇一記念美術館のスタッフを講師に招き、写生大会が行われました。あいにく雨が降り出したため、屋内での写生大会になりましたが、子供たちは港の風景や遊覧船を思い浮かべながら、のびのびと絵を描いていました。

子供たちが描いた絵は、11月20日から鷹山宇一記念美術館に「地球環境世界児童画コンテスト」と併せて展示されることになっています。

次回は、12月に七戸町で牧場見学が予定されています。



ガントリークレーンの見学



写生大会の様子

木材薫蒸施設 稼働

近年、貿易貨物に使用する木製梱包材を介して、輸入国の森林が病害虫に汚染されないように、梱包材の薫蒸を義務付けた国際基準、「国際貿易における木材梱包材の規制のための指針」に即した消毒処理を求める国が多くなっています。



木材薫蒸施設

こうした中、八戸通運㈱では、八戸港の八太郎2号埠頭に木材薫蒸施設を設置しました。薫蒸施設は、内寸で幅6m、高さ2.5m、奥行き2m。収容能力は14.4m³。材料により異なりますが、70～90度の蒸気で3～10時間加熱処理することで病害虫を駆除します。

これまでは、薫蒸済みの梱包材を横浜港から取り寄せて使用しなければなりませんでした。八戸港での薫蒸が可能となり、荷主のニーズに迅速に対応できるようになりました。

今後は、プラスチック製パレットを使用しているお客様にも、より安価な木製パレットに切り替えていただくことで、コスト削減につながるものと期待されます。

【利用申込・お問合せ先】

八戸通運株式会社 海運部 海運営業所
担当：山内

TEL 0178-29-0202 FAX 0178-20-3281

県産ながいもをアメリカでPR

青森県、全国農業協同組合連合会青森県本部、しんせい五戸農協、八戸市の商社ファーストインターナショナルでは、全国有数の生産量と品質を誇る青森県産ながいものアメリカ向け輸出に取り組んでいます。

6月30日から7月5日まで、ロサンゼルス市内で現地市場調査を行ったほか、初めてスーパーでの試食販売を実施しました。一部中国人も含まれますが、購買層のほとんどは、現地の日本人か日系人で、日本食ブームもあり、ながいもの消費量は伸びているといえます。バター焼きやシェーク風ながいもドリンクの試食・試飲を行ったところ、「こういう食べ方もあるのか」と好評でした。消費者の健康志向



試食販売の様子

も強く、ながいもの機能性をPRすれば、消費はまだまだ伸びる可能性があります。全国農業協同組合連合会青森県本部では、平成16年産ながいものアメリカ向け輸出目標を100トンに設定していましたが、さらに増やす方針です。

台湾では北海道産ながいものブランドが確立されていますが、早い段階でアプローチすることで、アメリカでは青森県産が定着するように、関係者一丸となって取り組んでいく予定です。



売場に並んだ青森県産ながいも

お問い合わせ先

青森県庁農林水産部 総合販売戦略課
消費宣伝グループ

TEL : 017-734-9607 FAX : 017-773-2691

八戸港くらしと物流探検隊

8月18日、「八戸みなとづくり連絡会」主催の「八戸港くらしと物流探検隊」が結成され、八戸市内の小学生の親子6組（計14名）が八戸港に輸入される物の流れを探検しました。

家畜の餌の原料となるトウモロコシなどの穀物が、八戸港に輸入されていることに着目し、施設見学・体験実習を通じて港湾と生活との関わりを調べ、理解してもらうことが目的です。

午前には国土交通省の監督測量船「ほくと」から八戸港の海上見学を行い、その後東北グレートターミナルで穀物輸入の仕組みを学習しました。午後は、カワヨググリーン牧場



監督測量船「ほくと」からの八戸港見学

で、牛の餌やりや牛乳からのアイスクリームづくりを体験しました。

参加者からは「思っていたより港に密接している町だと思った」、「家畜の飼料の説明から始まったので、流れがよく分かった」などといった感想・意見が寄せられました。

今回が初めての取り組みでしたが、好評だったことから、来年度以降も継続していく予定です。



カワヨググリーン牧場での体験実習

お問い合わせ先

八戸みなとづくり連絡会 事務局
(八戸市建設部港湾河川課)

TEL 0178-43-2111 (内線) 338

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2005年10月現在、海外在住（天津、香港、シンガポール、マニラ、タコマ、ワシントンD.C）の6名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけることになっておりますので、ご希望の方は八戸市経済部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308）までご連絡ください。

REPORT1

マニラレポート



加賀田 みどり さん

山積みされるダランタン

皆様 こんにちは。

マニラは最高気温が33度ぐらいです。8月前半は曇りと雨の日がほとんどで涼しく感じましたが、後半に入り強い日差しが気温を上げています。でも土の部分が多く残っているためか、日陰は思った以上に涼しく感じます。

日本のスーパーマーケットでも、フィリピン産のバナナ・パイナップル・マンゴーなどが手に入るとは思います。お味はいかがですか。

先日、朝市でバナナを買いました。バナナの皮はスーパーで売られているものに比べ、赤茶色の部分があったりして綺麗ではないのですが、中の実は濃い黄色で本来のバナナはこういうものと思わせるような味でした。我が家の子供たちは、バナナをそのままではあまり食べませんが、輪切りにしてレモンをふりかけて冷蔵庫で冷やしておくと、バナナの甘味が緩和されてさっぱりするので、一度に5本分ぐらいべろりと食べてしまいます。また、バナナとレモンの果汁と氷をミキサーにかけてバナナシェイクを作って冷凍庫に数時間入れると、おいしいシャーベットができます。熟しすぎたバナナは、輪切りにしてラップの上に平らにならべ、空気に触れないように包んで冷凍庫へ入れます。凍ったら一つずつキャンディがわりにお子様の口の中へ。少しずつ口の中で溶けてきて、誰も見向きもしなかった熟しきったバナナが一躍舞台に踊り出ます。

こちらでは料理用のバナナがあります。皮が厚く短めで、普通のバナナの2倍ぐらいの太さです。茹でてそのまま食べたり、油で揚げてシナモンや砂糖をふりかけて食べています。茹でたときの味は、酸味があってあまり甘味は強くありません。油で揚げるとバナナの風味がでてきます。普通のバナナを油で揚げると、固めのほうが型崩れしないと思います。

私が住んでいるアラバンのショッピングモールでは、催事場で民芸品展が開かれています。

魚などの乾物類・ココナツやもち米を使って作ったお菓子・山と積まれたダランタン（見た目は青いみかんのようですが、中はオレンジ色で食べやすい果物です）。手編みのショールやセーター。色とりどりに織

られたテーブルランナーやコースター。皮で作った小銭入れや財布。手作りの家具や置物や籠。

杖を持った男性がピアスをしている置物は、少し動かすたびに揺れてとても味わいがあります。ピアスや手にしている杖なども後から付けたものではなく、一本の木からできています。

以前、こちらの職人さんに本棚を作ってもらいました。日本人の指導のもとで作ったのですが、しっかりしていて今でも重宝しています。このように彼らの職人技が研かれ、フィリピンならではの物をたくさん造りだしてほしいものです。

フィリピンはクリスマス用品が店頭で見るのが早く、見るだけでもとても楽しめます。パサイ市のワールドトレードセンターで月に1回行われるバザーは、とても見応えがあります。これからはクリスマス用品が



一本の木から作られた置物

たくさんあるので、白と赤と緑のカラーで賑わうと思います。フィリピンにいらして、マニラで時間のある方は一度ごらんになってください。

今後のバザーの予定

10月25日(火)

11月22日(火)

12月6日(火)

REPORT2

香港レポート



㈱ダイトコーポレーション
香港事務所 所長
長谷部 良人 さん



香港コンテナターミナル

故郷、八戸市の皆さん、こんにちは。今回は在勤地の香港及び広東省との物流、交通事情についてレポートいたします。

香港と隣接する広東省深セン市は、香港から車で約1時間の距離であり、国境（ボーダー）はあるもののビジネス面の関係が強く、多くの人々が日々ボーダーを越えて仕事をしています。私も週の約半分は深セ

ン市をはじめ広東省で業務をしております。

香港から中国への交通手段は電車（香港—深セン市と香港—広州）、バス（香港—深セン、香港—広東省内主要都市）及びフェリー（香港—広東省内主要都市）があります。香港と深セン間の電車、バスは約15分間隔であり、ちなみにバスは24時間営業しております。時間的には違いは大きくありません。費用は深センまでで電車、バスが600円、フェリーが2000円程度となります。フェリーは主に広東省西部の珠江デルタ地域と呼ばれる地域（広州、仏山、珠海、中山市等）への移動に利用しています。ただ2010年には香港とマカオ及び珠海市を結ぶ道路（橋）が完成予定であり、その後はフェリー交通が減る事が予想されます。華南でのタクシー事情は場所によってはサービスが悪いので、この点も考慮に入れて交通手段を選定しております。

ボーダー越えでは香港人、中国本土人、外国人それぞれ窓口が異なり、香港人はパスポートに代えて交通証にて越境手続きを行っています。我々外国人はパスポートでの手続きとなり、パスポートの承認印欄を1週間で1ページ程度使用する為、1年足らずでパスポートの全ページを使ってしまう状況です。

次に物流面ですが香港、華南の物流規模の評価として港のコンテナ取扱量は以下の様になっております。（単位のTEUは20フィートコンテナ換算です。）

	港名	取扱量 (TEU)	前年比
第1位	香港	21,932,000	+7.3%
第2位	シンガポール	20,620,000	+14.0%
第3位	上海	14,550,000	+29.0%
第4位	深セン（華南）	13,650,000	+28.0%
第5位	プサン（韓国）	11,430,000	+10.0%

	港名（日本）	取扱量 (TEU)	年
第1位	東京	3,200,000	2004
第2位	横浜	2,500,000	2004
第3位	神戸	1,992,949	2002
第4位	名古屋	2,280,000	2004
第5位	大阪	1,514,662	2002

なお、深センは塩田港（46%）、赤口港（23%）蛇口港（15%）他港（16%）があります。

コンテナ取扱量は香港、深センを合わせると東京の約11倍で、東京の1年分弱を1ヶ月で処理しているといえます。このことからこの地区が如何に大きな物流拠点となっているか理解できると思います。香港での取り扱い貨物は、そのほとんどが中国本土との輸出入に関連しており、トラック（陸路）及びフィーダー船（海路）により中継されています。

香港も深センも365日、24時間稼働しています。ただし税関執務時間は8時から17時までとなっており、中国内のローカル港（フィーダーターミナル）も概ね8時から17時までの作業となっています。

中国での物流業務では輸出入通関、特に輸入では関税が関係することからその手続きが大きな比重を占めています。中国では保税貨物（税関承認による関税等未処理の貨物）を取り扱う工場、会社は通関手続きを行う『報関員』の雇用義務があり、華南では概ね輸出入者自らが通関手続きを行うことが多くなっています。ちなみに日本では概ね通関会社へ委託して処理されています。

香港はご存知の通り自由港で基本的には通関、関税は不要ですが、厳密には輸入では価格の0.035%、輸出では価格の0.05%が政府への申告料として課せられます。また酒、たばこ及び自動車等の制限品は関税が課せられます。

この香港の自由度を利用し、香港経由での中国との輸出入が多く行わ

れています。香港の物流基地としての地位低下を危惧する意見もありますが、香港寄港船社が航路を含め多いこと及び物流の絶対量が増加を続けていることから、世界1位の地位を譲ることはあっても華南の主要港としての立場は継続するものと予想されます。

REPORT 3

天津レポート



三八五グループ
中国駐在代表
魏 鴻泉 さん



紫雲公園風景

昔の鹼渣山 今は紫雲公園

中国北方の一番大きい港を有する町「天津市塘沽区」。

区の中心部からやや東の方へ行くと、中国初の近代的ソーダ工場である「天津鹼廠」が大きな陸橋のそばにあります。もう少し行くと、天津鹼廠の社宅団地があり、その団地を通りぬけると、あっ、天津あたりの平原地帯では珍しい、山のある公園がありますね。

急いで公園に近づいて見ると、「紫雲公園」と書いてある大きい石碑が公園の入口にありました。これが紫雲公園だ！昔はソーダ産廃物の山だった所だ！と思いながら、散策を始めました。

池や噴水、人工滝があり、植木や芝生が丘を覆い、緑以外は目に入らないほど公園内はよく整備され、塘沽区民の憩いの場となっています。

山路に沿って頂上まで登ると、30メートルの高さから塘沽区全域を見渡すことができます。近くにある天津鹼廠は現在も生産を続けていますが、今後、臨海工業団地に転移し、その跡地は紫雲公園の一部になる計画です。

このようにきれいな公園が、約1,000万m²のソーダ廃棄物の山の上になできたことには驚かされます。天津鹼廠は中国初のソーダ工場として、当時の先進的な技術を採用していたのですが、廃棄物の処理までできませんでした。約100年の間に蓄積した廃棄物は0.5km²の土地に3つの山となりました。雨のない日はホコリが舞い上がり、雨が降ると雨水がアルカリ性となって木や草を枯死させ、住民は大変苦しんできました。

20世紀末、天津市塘沽区人民政府は、「鹼渣山を改造し、塘沽区民に幸福を与える」という計画を立て、ソーダ廃棄物の山の上に公園を作るという、巨大な工事を始めました。3つの山の1つを特殊な工程で加工し、建築の基礎用の土として販売し、それにより得た資金で他の2つの山に木や草を植えて、面積0.33km²の公園にしました。計画では、今の天津鹼廠の面積と合わせて1.5km²となる予定で、開発の進んでいる「滨海新区」（塘沽区、漢沽区、大港区の3つの行政区と経済技術開発区、保税区から構成される大開発区）の中心になるそうです。

天津では、何年間もの努力と巨大な資金投入、人力投入により、昔の鹼渣山をすばらしい公園にしています。塘沽区人民政府及び塘沽区民が環境保護に大きな貢献をしたことに対し、非常に感服しています。

八戸港の貿易概況報告 (2005年1月～7月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額は、主な品目別では鉄鋼製品が不調であったが、電気機器・紙製品・飼料等の好調により著増(前年度比131.4%)。主な仕向国別に見ると台湾・中国・インドネシアなどが挙げられる。輸入額は、主な品目別ではコークス等・ニッケル鉱・亜鉛鉱が好調により増加傾向(前年度比115.6%)。主な仕出国別に見るとオーストラリア・インドネシア・中国などが挙げられる。また、コンテナ貨物通関本数は東南アジア航路を中心に輸出・輸入合計で前年度比112.1%と伸びている。

■平成17年1月～7月の貿易額 (単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	5	7,266,500	166.7%	117.2%
フェロニッケル	MT	72,865	20,631,163	115.8%	123.0%
有機化学品	KG	948,775	272,311	89.4%	92.3%
紙 製 品	MT	4,768	676,336	155.0%	196.8%
一般機械	MT	1,833	525,980	67.1%	107.4%
鉄鋼製品	MT	8,167	715,995	32.6%	67.1%
飼 料	MT	6,201	327,540	127.0%	135.3%
魚 介 類	MT	4,123	468,923	69.0%	86.7%
亜鉛塊	MT	0	0		
電気機器			10,966,684		172.2%
その他	—		1,878,706		197.3%
合計	—		43,730,138		131.4%

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	481,414	7,847,343	101.0%	104.1%
とうもろこし	MT	497,258	8,185,110	100.5%	88.1%
ニッケル鉱	MT	1,648,608	11,904,650	107.4%	120.6%
木 材	CM	61,571	1,426,147	84.7%	75.7%
亜鉛鉱	MT	91,574	3,670,981	99.8%	126.7%
大豆粕	MT	122,393	3,848,889	100.7%	82.5%
魚 介 類	MT	6,700	2,967,864	144.2%	129.4%
飼 料	MT	35,977	1,032,293	122.7%	137.0%
石 炭	MT	470,159	3,506,894	94.3%	130.7%
こうりゃん	MT	108,907	1,819,053	106.7%	95.9%
ウッドパルプ	MT	11,444	637,759	65.5%	61.4%
カオリン	MT	67,813	1,356,998	91.3%	98.3%
肥 料	MT	9,917	239,621	62.2%	66.8%
重油等	KL	183	9,572	1.7%	3.1%
コークス等	MT	80,367	2,144,418	161.5%	216.8%
鉛 鉱	MT	26,367	1,454,793	139.0%	201.2%
金属製品	MT	1,826	753,954	92.5%	141.0%
その他穀物	MT	9,187	156,941	75.8%	70.9%
糖 蜜	MT	2,318	24,742	92.0%	144.2%
一般機器	MT	917	429,866	54.1%	117.7%
その他	—		19,234,729		146.4%
合計	—		72,652,617		115.6%

●コンテナ貨物通関額 ()内は前年対比

輸 出	252億 847万 (157.8%)
輸 入	180億6220万 (111.7%)

●コンテナ貨物通関本数 ()内は対前年比

輸 出	4,841TEU (117.6%)
輸 入	7,682TEU (108.9%)
合 計	12,523TEU (112.1%)

上海のコンビニ競争激化で 店舗数減少

日本貿易振興機構 (JETRO)
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

上海市では96年にローソンが進出して以来、コンビニ店舗が増加する一方でしたが、2005年4月末の店舗数は前年比減少を示しました。

上海チェーンストア協会によれば、コンビニ店舗数は2000年以降大幅な伸びを示していましたが、2004年下期に入り、競争激化により撤退または一部閉鎖を決めた経営会社が出始めています。2005年4月末時点の店舗数は4,982店で、2004年末の5,407店より7.9%減少しました。

2004年10月末、香港の先施集団子会社の上海先施地利百貨チェーンが、傘下の75店舗を閉鎖すると発表しました。

約800店舗を持つ21世紀便利店でも収益が悪化し、家賃などを支払えない店舗が多数出ており、2005年1月までに100件以上の支払請求訴訟を起こされています。そのため、800店のうち、経営不振店500店の閉鎖計画を打ち出しました。

上海チェーンストア協会ではコンビニの過当競争を防ぐため、2002年6月、既存のコンビニ店から100メートル以内に店舗を設けないように各社に自粛を求めましたが、功を奏せず、コンビニが3～4店舗並んで営業している場所も少なくありません。

この競争激化に加えて、収益を圧迫しているのが不動産価格の高騰です。同協会のアンケート調査によれば2004年の上海市内の毎月の平均家賃は1万3,000元(1元は約13円)で、平均経営コストの約半分を占めています。

活路を見出すために市内の高い家賃と過当競争を避け、郊外の新興住宅地にターゲットを変更する経営会社も出始めています。

なお、2000年末から2005年4月末までのコンビニ店舗数の推移は以下のとおりです。

2000年末	1,109店舗	49.7%増
2001年末	1,958店舗	76.6%増
2002年末	3,576店舗	82.6%増
2003年末	4,866店舗	36.0%増
2004年末	5,407店舗	11.1%増
2005年4月末	4,982店舗	7.9%減

(ジェットフード&アグリカルチャー2548号より一部抜粋)



中国建材フェア開催

9月2日、八戸港貿易センターにおいて、中国建材フェアを開催しました。今回のフェアは、青森県輸入住宅促進協議会と、日本貿易振興機構（JETRO）青森貿易情報センターの共催によるもので、青森県、八戸市並びに八戸港国際物流拠点化推進協議会からご後援をいただきました。

近年、中国製住宅建材は品質の向上や、日本向け商材の積極的な開発により、日本国内での流通が年々増加しています。こうした中、中国から輸入した建材の展示・紹介のほか、中国ビジネスに関するセミナーを行いました。

セミナーでは、協議会会長の斎藤義則の挨拶の後、日



展示会場の様子

本貿易振興機構 中国北アジア課長 加藤 康二氏と、協議会会員のグッドワークトレーディング有限公司 代表取締役 石川 達也氏よりご講演をいただきました。加藤氏は「中国経済の最新動向と今後の課題」と題し、人民元の切り上げによる影響などを中心に、石川氏は自身の中国との取引における体験を交えながら、中国の住宅事情や建材工場の様子などについて講演されました。

この他、会場内では青森県中小企業経友会事業協同組合のご協力により、中国の方による中華料理の実演も行われ、来場者にふるまわれました。参加者は興味のある商品について商談をするほか、ふるまわれた中華料理を手にとり、交流を深めていました。



講演会の様子

COFIツーバイフォー工法設計セミナーご案内

AIRAでは、カナダ林産業審議会（COFI）SPFグループとの共催で、設計セミナーを開催します。2×4工法の最新情報に始まり、工法の基本、構造図面（施工図）を理解できるよう、具体的な2×4図面の解説を致します。現在、2×4工法に取り組まれている方や、在来工法など他工法に携わっている方で2×4に興味のある方は、是非この機会にご参加ください。

日 時：平成17年10月27日（木） 10：00～17：00

会 場：八戸港貿易センター 3階会議室

（青森県八戸市豊洲3-9）

定 員：50名

講 師：諏訪 勉氏（アルス1級建築士事務所 代表）

教材費：5,000円（税込み）※テキストはすべて用意します。

申込・お問合せ：カナダ林産業審議会 TEL 03-5401-0533

FAX 03-5401-0538

AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへの参加。
2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
3. 各種貿易相談を受けられる。
4. 輸入住宅および部材についての情報が受けられる。
5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加（自己負担あり）ができる。

AIRA：青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内

Tel：0178-72-1505 Fax：0178-72-1503

<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社斎藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市遼道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市浜館一丁目18-10	017-741-2063
グッドワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社デーオー小笠原	青森市東遼道三丁目6-3	017-736-2000
有限会社アメリカンスタンダードホーム	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港)、韓国(釜山、光陽)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、南米、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、青島、大連) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	4
光陽(韓国)	5	10
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	7	6
高雄(台湾)	8	7
香港(中国)	9	9
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	9	9
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャバン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL:0178-29-0202	FAX:0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL:0178-29-3177	FAX:0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL:0178-20-2321	FAX:0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL:0178-28-2401	FAX:0178-28-6976
三八五流通株式会社	TEL:0178-52-7755	FAX:0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL:0178-27-3311	FAX:0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL:0178-20-1651	FAX:0178-20-2444
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫		



貿易Q&A

八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

Q コンテナはどんな荷物でも運べるの？

A 前回、コンテナ輸送をご紹介しましたが、コンテナは様々なものを運べるように工夫されています。一般的に使われるのは「ドライコンテナ」で、温度調整の必要がないもの全般に使われます。肉や野菜、植物など一定の温度を保たなければならないものには「冷凍コンテナ」を使います。液体の貨物の場合は「タンクコンテナ」が使われます。コンテナのサイズは、長さが20フィートのもので40フィートのもありますが、それよりも大きな貨物の場合は、屋根がない「オープントップコンテナ」を使います。ショベルカーなどの重機類を運ぶのに便利です。もっと大きな貨物には、側面と屋根を取り払った「フラットラックコンテナ」をつなげて使用します。象など大型の動物や、小型飛行機なども、これを使って運ばれることがあります。

様々な荷姿の貨物を、コンテナという規格化された箱に収めることで、貨物輸送の効率が、飛躍的にアップしました。

編集後記

新そばの季節になりました。

そばといえば、南郷区(今年八戸市と合併した旧南郷村)の特産品です。

今年の産業ツアーに参加された白鳥製粉(株)は、オーストラリアのタスマニアでそばを栽培しており、漫画「おしんぼ」でも取り上げられました。

でも、どうしてタスマニアでそば栽培？

そばは秋に収穫されるので、最も需要が多い夏は端境期にあたります。前年のそばは、味も香りも落ちていまずし、夏に穫れたそばは、「夏のそばは犬も食わぬ」と言われるほどです。

そこで、夏に美味しい新そばを提供するため、季節が反対になる南半球での栽培となったわけです。

八戸地域には、「階上早生」という風味豊かなそばの在来種があります。近い将来、八戸生まれ、タスマニア育ちの「階上早生」なんていうのが食べられるようになればいいですね。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業政策課内

TEL:0178-43-2111(代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp